

南知多町教育委員会（令和元年12月定例会）会議録

開閉会の日時	令和元年12月16日（金） 午後 1時40分 開会 午後 3時03分 閉会
開催場所	南知多町役場 講義室
出席した構成員	高橋篤教育長、日比淳子教育長職務代理者、池戸義久委員、 大岩芳子委員、坂口薫史委員、折戸良直委員
説明のため出席した職員	山下雅弘教育部長、石黒俊光学校教育課長、森 崇史社会教育課長、 山本剛資学校給食センター所長、蟹江敏広指導主事
議事日程	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
傍聴人	1人

(別紙) 令和元年12月 定例教育委員会 会議日程

日 時 令和元年12月16日(月)  
午後1時40分  
場 所 南知多町役場 講義室

日程1 会議録の承認

日程2 教育長報告

日程3 協議・報告事項その他自由討議

- (1) 令和2年南知多町成人式について
- (2) 第14回「愛知駅伝」の結果について
- (3) 後援申込みについて
- (4) 島フェリー船舶検査による運休時の篠島・日間賀島の給食対応について
- (5) 令和元年度南知多町教育委員会教職員表彰被表彰者(案)について
- (6) 南知多町の特別支援教育の現状及び町教育支援委員会の結果について
- (7) 南知多町立小中学校における適正規模適正配置に関する意見交換会の結果及び今後の進め方について
- (8) 学校教育課関係の行事予定等について
- (9) 社会教育課関係の行事予定等について
- (10) 学校給食センター関係の事業等について
- (11) その他

次回定例会予定 1月30日(木) 午後1時40分～ 南知多町役場 図書会議室

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>それでは、ただ今より、12月定例教育委員会を開会いたします。本日の出席は私と教育委員5名全員であり、会議は成立いたします。会期は規則の定めるところにより、本日1日限りといたします。</p>
高橋教育長	<p>教育委員会の会議は、原則公開であります。地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により「人事に関する事件その他の事件について、教育長又は委員の発議により、出席委員の三分の二以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」と規定されています。</p> <p>つきましては、本日の協議事項である「日程3 協議・報告事項その他自由討議」のうち「(6)南知多町の特別支援教育の現状及び町教育支援委員会の結果について」は、児童生徒の個人情報が多く含まれていますので、この部分の会議については、非公開とすることを提案させていただきます。</p>
高橋教育長	<p>それでは、この提案に賛成の方の挙手を求めます。</p> <p>(挙手全員)</p>
高橋教育長	<p>ありがとうございました。挙手全員でありましたので、可決されました。</p> <p>つきましては、傍聴人の方は、当該議事になりましたらご退席いただくこととなりますので、よろしくお願いいたします。</p>
高橋教育長	<p>それでは、「日程1の会議録の承認について」に入ります。</p> <p>これについては、会議の前に教育委員の方に確認していただき終了していますので、次に移ります。</p>
高橋教育長	<p>「日程2 教育長報告」につきまして、私から報告させていただきます。</p> <p>(11月定例教育委員会以降出席した町校長会議、12月定例町議会の一般質問に係る答弁状況をはじめ各行事・会議等の状況について報告説明した。)</p>
高橋教育長	<p>私からの報告は以上であります。</p> <p>ご質問等がありましたら、お受けします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>(質問なし)</p> <p>次に、「日程3 協議・報告事項その他自由討議」に入ります。 「(1) 令和2年南知多町成人式について」、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (森社会教育課長)	<p>(令和2年南知多町成人式の開催要項等について説明した。内容については、実行委員会で協議しているが、例年とほぼ同様の予定である旨、併せて説明した。)</p>
高橋教育長	<p>事務局の説明が終わりました。 ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
高橋教育長	<p>ご質問等もないようですので、次に、「(2) 第14回「愛知駅伝」の結果について」、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (森社会教育課長)	<p>(第14回「愛知駅伝」の結果について説明した。順位は、町村の部で13位であった旨報告した。)</p>
高橋教育長	<p>事務局の説明が終わりました。 ご質問等がありましたらお願いします。</p>
池戸委員	<p>テレビ放送を見させていただきましたが、中継場所での声掛けは実行委員の方がマイクで言っていました、それが聞こえないんですか。</p>
事務局 (森社会教育課長)	<p>現場は聞こえにくく、十分に声が届きませんでした。8区についてはカーブがあり、走ってくる選手が見えないため次の選手がタスキを時間差なく受け取るのが難しかったです。中継場所より先に見張りを置いて情報を伝えるようにすることが、今後に対する反省点です。</p>
高橋教育長	<p>ご質問等もないようですので、次に、「(3) 後援申込みについて」、事務局の説明をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (石黒学校教育課長) (森社会教育課長)	<p>(南知多町教育委員会教育長に対する事務委任規則により、教育長に委任されている後援申込みについて、申込みのあった2件の事業概要及びその事務処理状況等を報告した。)</p>
高橋教育長	<p>事務局の説明が終わりました。            ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
高橋教育長	<p>ご質問等もないようですので、次に、「(4) 島フェリー船舶検査による運休時の篠島・日間賀島の給食対応について」、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (山本給食センター所長)	<p>(令和2年1月8日から17日までの10日間、名鉄海上観光船の島フェリーが船舶検査により運休となることへの篠島・日間賀島の給食対応として、フェリーの代替えとして高速船の後部改造による貨物運搬により給食を配送すること、また、その配送に係る給食配膳員や臨時調理員、配送車運転補助員を増員するなどの計画を説明した。)</p>
高橋教育長	<p>事務局の説明が終わりました。            ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
高橋教育長	<p>ご質問等もないようですので、次に、「(5) 令和元年度南知多町教育委員会教職員表彰被表彰者(案)について」、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (蟹江指導主事)	<p>(町現職教育委員会において、町教委教職員表彰規則に基づき協議作成された本年度町教育委員会教職員表彰被表彰者(案)及び推薦理由について説明した。本件については、2月7日に開催されます町教育研究発表会に先立ち、1月定例教育委員会で議決いただくこととなりますが、今後、新たに基準を満たすこととなった等、追加変更されることもありますので、よろしくお願いします。)</p>
高橋教育長	<p>事務局の説明が終わりました。            ご質問等がありましたらお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>(質問なし)</p> <p>それでは、次の議題については、非公開となりますので、傍聴人の方の退席をお願いします。</p> <p>【日程3 協議・報告事項その他自由討議のうち、「(6) 南知多町の特別支援教育の現状及び町教育支援委員会の結果について」は、非公開において審議されたため、南知多町教育委員会会議規則第15条第3項の規定により、会議録は別途作成】</p>
高橋教育長	<p>その他ご質問もないようですので、次に移ります。それではここで傍聴人の方には入室していただきます。</p> <p>次に、「(7) 南知多町立小中学校における適正規模適正配置に関する意見交換会の結果及び今後の進め方について」、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (山下教育部長)	<p>資料2 学校規模適正化の意見交換会の結果と報告について、まとめたものの説明、その目的と意見交換会の日程つまり実施期間についてご説明します。</p> <p>実施方法については、中学校区ごとに実施をしまして、区長さんとか、町議会議員の方、小中学校の保護者の方には直接に文書で案内を出しました。町広報、ホームページへ掲載し、参加を呼びかけました。日間賀島についてはエリアトークでも参加を呼びかけました。説明会の内容については各教育委員さんもお出席されたところですが、前半にアンケートの結果説明、後半にグループに分かれて意見交換を行いました。4.日程及び会場については記載のとおり、参加者につきましては5地区合計で87名、その内保護者24名でありました。この人数につきましては、後半の意見交換会に参加していただいた人数で、オブザーバーで参加していただいた町長や教育委員の方、ご自分の地区以外の町議会議員の方や学校長のような方々は、この人数には入っていません。6.総括ということで、意見交換会では、「小学校の統合について」「中学校の統合について」どう考えるかについてお聞きしているのですが、多くの意見が出されました。地区により特色のあるものとなっておりますが、総括といたしまして、項目(1)が統合して欲しい、(2)が現行のままでよい、(3)が課題、(4)がその他という風に分けて、代表的意見を整理しますと、このとおりになりました。</p> <p>まず、小学校につきましては、統合して欲しいでは、①篠島小と日間賀小以外の小学校を統合する。②大井小と師崎小を統合して町内5小とする。大井小と師</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>           崎小を統合は急務である。⑥子どもの教育環境のために統合を、学力の競争、クラブ活動、友人が増える、という理由で統合を望まれる。という意見がありました。(2)の現行のままでもよいという方につきましては、①では各中学校区で小学校が必要だ、何かあったらすぐに迎えに行けるように。③小学校は地域コミュニティの文化拠点であるため、地区に無くなるとコミュニティが崩壊する。地域がさびれる。という意見がありました。⑦では両島の方のご意見ですが、船での通学は無理だというご意見がありました。(3)の課題と(4)のその他というところでは、特に大きいのは、登下校時の送迎が一番大きな課題になるのではないかと、それから、どこに統合するのか、その場所が問題である。というご意見をいただいています。         </p> <p>           次に3ページでは、中学校についても同じように整理をさせていただきます。(1)統合して欲しい。①では離島以外の中学校を統合して欲しい。④では町内1中とするということ。理由としまして⑥では、地区での男女差がある。と、それから⑧ではクラブ活動が活性化する。種目の選択肢が増える。というご意見。⑩では、人間関係や学習上での同級生との競争がよい影響を与えてくれる。⑪では、高校生になったときに急に人数が増えるより、中学校で慣れた方がよい。というご意見がございました。(2)現行のままでもよいというところでは、①住みよいまちであるためには、学校が存続することが必要だ。と、②では地域のコミュニティの中心が破壊される。⑤では島では1人や2人になっても希望があれば残すべき。複式学級でも良いというご意見がございました。(3)の課題と(4)のその他につきましても、小学校と同じように通学手段に課題があるということですか、⑤で財政面のこともおっしゃっている方も見えました。それから(4)のその他では、①では小中学校を合併して地区に残してはどうかというご意見もありました。③統合に対する財政のシュミレーションが欲しいとか、⑤子どもに選択肢を与えて欲しい。子どもの気持ちが大事とか、⑥町の強いリーダーシップが必要などのご意見がありました。         </p> <p>           以上が総括ということで抜粋をしてあります。また、その次に、各会場での意見ということで、各会場での主な意見を記載してあります。各会場ごとになっています。量が多いのでご説明は省略しますので後ほどご覧ください。以上で説明とさせていただきます。         </p> <p>           それでは続きまして、資料3になります。資料3の小中学校適正規模適正配置の基本的な進め方(案)でございます。         </p> <p>           ここでは、基本的な進め方について、教育委員会の中で案をお示しさせていただきます。また、町総合教育会議の中で案についてはご検討いただくということになっております。まず、「1.はじめ」を読ませていただきます。上の方から4行目です。         </p> <p>           未来を生きる子どもたちの教育にとって最善の選択は何かについて、教育的な         </p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>視点で検討を進めています。「2、基本的な考え方」では、「(1) 基本的な方針」について挙げてあります。これは昨年1月に開催されました平成30年度の第2回教育総合会議で協議調整をいたしました、基本的な考え方であり、この考え方の下で意見交換会あるいはアンケートの方を進めさせていただいております。</p> <p>「(2)基本計画」につきましては、保護者、地域住民や教職員の意見要望等を踏まえ、教育委員会としての理念や考え方、方向性、取り組み方を整理し、基本計画（南知多町小中学校適正規模適正配置に関する基本計画）を策定していきます。</p> <p>2ページ「3. 基本計画策定の流れ」につきましては、今年7月に実施しました保護者アンケート、8月に実施しました教職員のアンケート、10月、11月に実施しました保護者や地域住民の方との意見交換会の結果などを参考にしながら基本計画の案を作成しまして、パブリックコメントを経て、また、住民の皆様の声を伺い、基本計画を決定していく流れとしています。</p> <p>「4. 推進体制」につきましては、ここでは3つにまとめてあります。「(1)の教育委員会」におきましては、基本計画案についてご協議をいただき、「南知多小中学校学校適正規模適正配置検討委員会」のご意見・提言を踏まえて、基本計画として決定していきます。</p> <p>「(2)総合教育会議」では、町長、教育長、教育委員で構成する総合教育会議におきまして、基本計画案等の協議調整を行います。ここで、本町の教育のめざす姿を共有しながら、町長部局と連携して教育行政をすすめるために、この会で考え方を一致させていくというものであります。</p> <p>最後に、「(3) 南知多町学校適正規模適正配置検討委員会」、こちらの方を設置したいと思っています。</p> <p>学校適正規模適正配置に関する所掌事項につきまして協議をし、教育委員会に報告する。ということで、こちらからの検討委員会の設置を考えております。</p> <p>引き続きまして、次の3ページが「南知多町小中学校適正規模適正配置基本計画」に記載をする項目のこちらも案でございます。まだ、この段階では案でございますので、このような内容で盛り込んでいくという予定であります。</p> <p>第1章では、基本計画の策定に当たりましての主旨や経過や取組みについて記載します。</p> <p>第2章では、学校規模と学校配置の現状と課題について記載していきます。</p> <p>第3章では、学校適正規模学校適正配置の基本的な方針について、こちらに記載していきます。</p> <p>第4章では、適正化に向けて具体的な取組を載せていく予定です。学校規模適正化にあたっての基本的な配慮、どういう配慮をしていくべきか、それから関連計画との調整もこちらに載せていきます。具体的に小中学校の配置について、</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>こちらの方に記載をしていく予定であります。</p> <p>大きく、このような内容で基本計画をまとめていきたいと考えております。</p> <p>次に、南知多町が目指す将来の学校教育（案）ということでございます。この項目につきましても、基本計画の中の第3章の1の中で、「南知多町が目指す将来の学校教育」という項目がありますが、その中で項目として挙げていくということで、現在はこれは案の状態でございます。基本的な教育体系については、小学校と中学校の高度な連携の教育をしていくということです。後は、2.育てたい児童生徒像（例）、3.統合後の小中連携の手立て例ということで、例を挙げさせていただいております。4.部活動についての案、5.高校・大学との連携の案をここでは挙げさせていただいております。</p> <p>次に6～9ページになりますが、検討委員会の委嘱の考え方についてとなります。検討委員会の設置要綱がありますが、それらが今は案の状態ですが、これに基づいて検討委員会のメンバー、こういうメンバーではどうかという案であります。保護者の代表ということで小中学校それぞれの保護者の代表の方が1名ずつ、それから未就学児の保護者の代表ということで各保育所園の保護者の代表の方をそれぞれ1名、それから校長会の代表といたしまして町の校長会の会長1名、副会長2名、それから区長会の代表ということで、各地区の区長代表5名ということ、それから最後に識見を有する方ということで1名をここで挙げていただきたいということです。</p> <p>8・9ページは、検討委員会設置にあたっての要綱の案ということで載せてあります。特に組織につきましては、第3条の方で、委員の構成を記載してあります。この検討委員会については、先程、説明したとおり、小中学校の適正規模適正配置に関することについてのご意見をいただくという所掌事項、つまり、それらについてご意見をいただくという意味合いで設置していきたいと思っております。</p> <p>一番最後のページ10ページですが、こちらも全くの案でございまして、会議は5回程は必要になるのではないかというスケジュール案がつけてあります。</p> <p>僕からは以上ですが、教育長、何かありましたらお願いします。</p> <p>検討委員会のメンバーについては、事務局は5人、教育委員の方にもオブザーバーで入っていただき、それから検討委員会としては各地区の代表者の方、保護者の代表の方々にたくさん入っていただくという案で提案がありました。</p> <p>4ページを開いていただいて、委員の皆さんにもいろいろ意見交換会にも出ていただいておりますので、それぞれの地域の方の意見や雰囲気が十分にお分かりかと思っております。そういったものとか、アンケートに自由記述で書いてくれたものを教育委員会として総合的に判断をして、ここに書きました「1中5小」。5小残すというのは、各地域の文化というか学びの場の拠点を残すという方針です。ただ、中学校としてはより広い人間関係をつくるために、「1中にまとめた</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>方がいいんじゃないか。」それで後から出てきますが、「学校だけの学びの場」ではなくて、「南知多町全体を学びの場」としたいという風に考えています。どういう意味かという、学校から外にどんどん出ながら各地域の勉強をしていくという動きです。</p> <p>それで、育てたい児童生徒像もあくまでもこれは例ですけれども、この中の一番最初の部分、「郷土に誇りをもち」という部分を強調したいという風に思っています。だから、学校規模適正化を検討していく中で、文言は変わっていくかもしれないですが、ここの部分は何としても残したいという風に思います。</p> <p>それから大きな3番、統合後の小中連携の手立てとしてですね、意見が出ておりましたけれども、例えば、小学1年生で生活科で家の中の仕事を学びます。自分が家族の中でどういう役割をするのかというのを勉強します。小学2年生になると例えばバスの乗り方だとか身近にあるいろんな施設、こういう勉強をします。これらが実際に現場に出かけて行って学んでいく。それから小学3年生から6年生までは、自分の住んでいるところ以外の4地区例えば豊浜でいくと内海、師崎、篠島、日間賀島地区の現地へ行って勉強をしていく。例えば、遠足の代わりとか郷土学習をするということです。それで、小学1年生の学習を発展させて、3・4年生では総合の時間に自分の住む地域の歴史を地理、文化、歴史などを深く学ぶこと、このときに地域の方のお手伝いがいただけるといいなあ、と思っています。それから、5・6年生になったら、これをまとめて、地域行事などで地域の人に発信していく、地域の行事に積極的に参加して、地域の文化を学ぶ、こういう風にできたらなあ、という風に思っています。それから、4年生から6年生での体育大会があるんですけども、今現在、小さい小学校は出場できない種目があります。例えば、篠島小学校だとソフトボール男子は出場できるが、サッカーは出場できません。だから、大会の時期をずらして、両方に出場できるようにしたいなど。それから、(6)では、八百津町は南知多町の友好交流町なのですが、それさえも知らない子どもが結構たくさんいます。そうではなくて、キャンプ・林間学校のとこにここへ出かけて行って、せっかく、杉原千畝記念館があるわけですので、世界の杉原の偉業を学んでいくようにしたらどうかなど。それから知多半島としてお世話になっている愛知用水の水源になっている丸山ダムなどを見てきたらどうかなど。それから、6年生の段階では、5つの小学校と一緒に修学旅行に行ったらどうか、これは意見交換会の中で、その前の段階で小学校のときにいろいろな交流を持って欲しいという意見がよくあったので、その手立てです。</p> <p>それから、中学校のところでは、1年生の総合的な学習というときに、小学校で自分の培ってきた自分の知識を利用して、自分の住む地域のことを学年の中で発表し合う、それで、南知多町の他の地域のことを学年の中で学び合う、そういう場面です。それから、(2)下諏訪町も姉妹町となっていますので、こちらの方</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>へ行って、向こうの文化だとか、そういう南知多町全体の産業、観光だとか、漁業だとか、農業だとか、それからどうしたらより良くなるのだろうかということをおぼせたらどうか、と思います。(4)では、全学年で休日や長期休業中には地域行事に参加させる。(5)では、今これは「1中」を想定していますが、3中になっても動きは基本的には同じなんですけれども、中学校に教育相談の専門家を配置し、生徒の悩み相談だとか、保護者の悩み相談などを受け入れる。中1ギャップと言われる小中学校間の段差を無くしたいなど。(6)は、学校祭はせっかく一緒にやるわけですので、地域の方々にも発表だとか、どこかにコーナーを作ってもらって、5地区のいろんなところを学び合うというものができたらいいかな、と思います。</p> <p>4. 部活動、中学校に設置する部活動は元々、今現在ある中学校の部活動を考慮したいという風に思っています。それに併せて小学校での部活動を活かした継続性を持てるものとしたいです。</p> <p>それから、中学校に無い種目も大会のあるものについては、引率がついて参加できるものにしたいです。例えば、水泳とか、陸上とかは中々つくるのは難しいかもしれませんが、個人で習っている子どもたちは、それにも出場できる体制を取りたいです。</p> <p>それから、部活動はあくまで自由参加とし。自分が学んでいる空手だとか、ピアノだとかそういうものは、そのまま続ければいいんじゃないか。応援するような体制にしたいです。それから、朝練習は基本的に行わず、土・日曜日の部活動はどちらか1日にする。ただし、子ども本人はもっとやりたいと、保護者はもっとやさせたいと、そういう場合には、社会教育でそれをフォローできる体制をすすめなければいけないなど。</p> <p>それから、5. 高校・大学との連携はせっかく近くに高校や大学がありますので。部活動での交流だとか、そういうものをやれたらどうか、と思います。それから、大学のスポーツ科学部だとか、子育て支援に関しては子ども発達学部の学生さんの力も子どもを育てるのに使えたらどうか、と思っています。(3)では、今後は小中学校は大学生が現場で体験したいというものはどんどん受入れて、そういう交流も必要かなと。</p> <p>6番のその他としては、将来的には、中学生が南知多町のいろんな地域のことを知っていて、観光ボランティアでさえもできてしまうという、そうなる夢のような話かもしれませんが、そうなるといいな、と思いますし、今、日間賀島、篠島、師崎地区は各地区でサミットが開催されていますが、これを南知多サミットとして、南知多町の全体を考えるような、そういう意見交換会ができるといいかな、とこんなような案を教育委員会事務局として考えてみました。</p> <p>この今、2から3ページに渡る部分は、この後の教育総合会議に出される部分ですので、もし、ご意見とかご質問等があればお受けいたします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>大きい3番から後ろについては、まあ、あくまでも例なので、今後考えていけばいいんですが、大きい1番の基本的な教育体系は柱を持っていないといかんとしますので、こんな考え方でどうでしょうか。1中5小、6学校の高度連携教育。南知多町全体を一つの学びの場とする。ただし、両島中学校については、いろんな課題が克服されるまで「3中5小」とする。</p> <p>ご意見、ご質問はありませんか。</p>
池戸委員	<p>高度というのは、どういう意味か。</p>
高橋教育長	<p>普通の連携教育と言いますと、小中学校間で連絡を取り合って、この行事を一緒にやっというね、だとかなるんですが。もっとレベルの高いというか、小規模学校が寄り集まっているので、例えば、一緒に林間学校へ行くとかは大きい学校や地区ではできません。一緒に行事をやるというのは良いことだと思いますし、それから他の地区へ行って、そこの文化や何かを学んでくる、例えば内海小学校の子どもが羽豆神社に行って、そこの地域のボランティアの人の説明を聞きながら勉強してくるとか。そういうものを進められるといいな、という風に思っています。</p> <p>普通の連携ではなく、より濃い、より高いレベルでの連携ということです。</p>
日比委員	<p>連携の表現については、より良い言葉があれば、又変えるということで、意味的にはそういうことですね。</p>
高橋教育長	<p>はい、意味的にはそういうことです。</p>
日比委員	<p>全体的に何かとても、こういう風であつたらいいかな、いいなと思う内容で、私は、とてもいいなと思っているんですけども、最初の方、小学校の辺は良くて、中学校も何かいいかなとも思うのですが、その後の部活動のところに入っていくと、ちょっと夢物語りっぽくってこうはいかないんじゃないかと、ちょっとまた、細かいところは考えていけないし、それと、こういう風に中学校が集まったところで人数的にはそんなに多くないので、そうすると、部活動で自主参加であつたりとか、好きなものを続けていこうとか、そういう風にやっていくと、結局、子どもはあんまりたくさん、それこそ大規模校のようなことではないから、学校の中で子どもの取り合いであつたり、いろんなことがやりたくて部活動に参加しない子どもなのか、そうじゃない子どもなのかかわからなかったり、とにかく子どもの取り合いになるんじゃないかという感じがちょっとするので、こちら辺のところは又、もう少し考えていくということで、前半左側のページはいいなと、また、最後のその他もいいな、と思いました。</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>日福大学のスポーツ科学部などがからんでくると、もしかしたら部活動が活性化してくるのではないか、と思います。</p> <p>昨日も、子ども会のクリスマス会があったんですけど、そのときに、日福大の児童活動部の「あかとんぼ」という大学生のグループが20人くらい来て、芝居やゲームをやってくれていたんですが、ああいうのをうまく連携できればいいな、と思いました。</p> <p>部活動だけ難しいところがあると思いますね。</p>
大岩委員	<p>まだ、案だと思うんですが、3ページの5番、生徒の悩み、不登校、各家庭への支援などがあるんですけども、学校にいけない、不登校でという、そこまでの報告などはあったりするのですが、実際、中学生になり体も大きくなってきて、お母さんたちも手の施しようがなくなることがあると思うんですよね。それで、引きこもりになって、義務教育でなくなったら終わりですよ。でも、どんどん大きくなってきたときに、そうなるので、中学生のときにお母さん、保護者への支援がものすごく必要になってくる。知っている方でも、どうしてよいかわからないと言われて、男の子で、それで、学校の先生たちもそんなに深く忙しく関わることはできないではないですか。でも、一番今、何とかしなきゃダメだよ、と話をしている、どうしたらいいのかわからないとおっしゃる方がいるので、やっぱり本当に、体と頭が大きくなる前に、もっと支援ができる体制ができるといいな、と思っています。</p>
高橋教育長	<p>教育相談員は、あくまでも中学校に配置なんですけれども、小学校を巡回して、そういうお子さんと話をしたり、そういうお子さんの家庭に行ったりして、相談活動ができるといいなという風に考えています。</p>
大岩委員	<p>実際はそういう話は聞くけれども、本当にお母さんが悩んでいて、家でゲームをやり、それもサバイバルゲームをやっている。だけれども、それがどんどん、そういうことがありますよね、事件を起こしたようなこと。それがどんどん大きくなる前に、その本当に相談できるところを、学校だけでは本当に無理なときに本当に専門のそういうところに行くといいですよ、とかいうのを本当に真剣に教えてくださるような、そういうことができるといいなと思います。</p>
高橋教育長	<p>実現は難しいことかもしれませんが、教育委員会の中にも、そういう風に相談できるようところができるといいな、と思います。</p>
大岩委員	<p>私もちょっとどうしていいか分からず、学校へ相談っていったって、学校もや</p>

発 言 者	発 言 内 容
高橋教育長	<p>っぱり今の時代、自分で気になって、自分から言ってくるものですよね。</p> <p>これはあくまで案ですので、もっともっと改良していけばよいですが、どうでしょう、基本的にこの案で、この後の総合教育会議に出したいと思うのですが、いかがでしょうか。ご了解いただけますか。賛成の方の挙手をいただきたいと思えます。</p> <p>(挙手全員)</p>
高橋教育長	<p>ありがとうございました。挙手全員でありましたので、この案で出させていただきますのでお願いします。</p>
坂口委員	<p>まだ、例ということではありますが、部活動とか、例えばその特殊なスポーツとか、南知多町はこれを推すとか、例えばよその小さい地域のところでも、ちょっと変わったスポーツを推してやっていて、その地域で本当に、日本代表の選手がよく出ているというものがあるので、例えば一般的な野球、サッカー、バスケ、バレーが悪いわけではないけれども、例えば、ちょっと南知多町は変わったスポーツを、それで世界へ出れるような、というようなものを行った方が面白いかな、と思います。</p>
高橋教育長	<p>ありがとうございます。それは実際に部活動をどれにしようかというところでまた、考えていきたいと思えます。</p> <p>それでは、こんなような内容で出したいと思えます。この後、他の内容についても、また、総合教育会議で出てきますので、ご意見をいただきたいな、と思えます。</p>
高橋教育長	<p>その他ご質問等もないようですので、次に、「(8) 学校教育課関係の行事予定等について」、「(9) 社会教育課関係の行事予定等について」、「(10) 学校給食センター関係の事業等について」、順次、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局 (石黒学校教育課長)	<p>(学校教育課関係の12月、1月の行事予定等について、説明した。)</p>
事務局 (森社会教育課長)	<p>(社会教育課関係の1月、2月の行事予定について、説明した。)</p>
事務局 (山本学校給食セン)	<p>(1月分の給食献立原案等について、説明した。また、令和元年度お祝い給食について、教育委員の方の出欠席、参加日程を調整した。)</p>

発 言 者	発 言 内 容
ター所長)	
高橋教育長	<p>事務局の説明が終わりました。 ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
高橋教育長	<p>ご質問等もないようですので、(11) のその他に入ります。 その他の件について、事務局の方で何かありますか。</p>
事務局	<p>特にありません。</p>
高橋教育長	<p>ほかにご質問等もないようですので、以上で本日の予定はすべて終了いたしました。 これもちまして定例教育委員会を閉会いたします。 どうもありがとうございました。</p>